

Regional Network

JAIF TIMES

創刊号

2016年7月

創刊のご挨拶

平素より、JAIF地域ネットワークへのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、JAIF地域ネットワークでは、立地地域での活動状況や地域でのご意見、原子力等に関する情報発信・共有を目的に、会報誌『JAIF Regional Network TIMES』（略してJAIF TIMES）を発行することとなりました。

今後『JAIF TIMES』が、メンバーのみなさま同士の距離を縮め、当協会との架け橋になることを祈念して、創刊のご挨拶とさせていただきます。

第13回意見交換会が開催されました



JAIF地域ネットワークでは、4月13日(水)東京国際フォーラム会議室で、「第13回意見交換会」を開催しました。

高レベル放射性廃棄物の最終処分については、昨年5月に「国が前面に立って取り組む」との基本方針が閣議決定され、国民理解の更なる醸成に向けた取組み等を積極的に進めた上で、「科学的有望地について、国民や地域に冷静に受けとめられる環境を整えた上で、平成28年中の提示を目指す」との方針を決定しました。

こうした状況を踏まえ、意見交換会では、原子力発電環境整備機構(以下NUMO)と連携して、「高レベル放射性廃棄物の最終処分の実現に向けて」をテーマに取り上げ、処分方法や地層処分の安全性等について正しく理解し情報共有するとともに、今後どのような取組みが必要か意見交換を行いました。

意見交換会は、国内各立地地域および消費地のメンバー25名他、電力会社等総勢41名が参加。メンバーからはNUMOの国民との対話活動について、“地味すぎてわからない”“イメージ戦略をしっかりとやるべき”“何度も繰り返すことによって信頼関係が生まれる”など、広報活動のあり方をはじめとする多くの意見が出されました。

今回の意見交換会をきっかけに、地域ネットワークメンバーの方の中でNUMOを招いて「高レベル放射性廃棄物の最終処分問題」についての勉強会を開催された方もいらっしゃいます。今後も皆さんの関心の高いテーマを取り上げて意見を交わし、皆様の活動の一助にして参りたいと存じます。

メンバーの活動ご紹介

スカーフクラブ「あおもりサロン」見学会概要



6月1日、2日と神奈川県横浜市にある電源開発(株)磯子火力発電所、(株)東芝 磯子エンジニアリングセンター(IEC)、(株)IHI 横浜工場の見学会を実施しました。参加者は14名。磯子火力発電所は日本で初めて公害防止協定を横浜市と締結、いち早く排煙脱硫酸装置を設置しました。この装置により排ガス中の煤塵をなんと99.9%除去できるとのことで、タワー型煙突の先からは全く排煙が見えませんでした。しかも蒸気条件に超々臨界を採用し、エネルギー効率を向上させた世界最高水準の石炭火力発電所です。

2日目の午前(株)東芝のIECを見学。原子力事業は燃料の製造、プラント建設、運転、保全などに加え将来のエネルギー開発までしています。見学のはじめは、3D-CADによる炉内を見る体験。複雑な配管にただただ驚きでした。また、3D-CADデータに工事物量・工程計画・人員計画をリンクさせた工事シミュレーション6D-CADによる建設計画も勉強しました。次はロボット装置の開発現場です。超音波振動計、電動弁診断装置、水中検査ロボット、水中レーザー溶接装置、多関節アーム型アクセス装置、レーザーピーニング等です。これらの研究開発でできた物を動かすのは人です。ここでは運転員の訓練もしっかりやっているそうです。

IHI横浜工場は、主に原子力発電設備、化学プラント用機器、大型鉄鋼物設計・製作・現地据付まで一貫体制で行っています。原子力技術は造船技術と似ていて、石川島播磨重工業時代の船づくりを応用していると説明を受け驚きました。製作中のシールドマシンも見学でき、直径16.7mと世界最大の大きさに圧倒されました。色もカラフルで作業員はクレーンに乗りながらの作業。ここでの作業は最新の機械ではなく手作業。モノづくり大国日本を感じましたが、技術の伝承などは大きな課題となっているとのことです。日本の重工業をリードして、私たちに豊かな生活を造り出してくれているのだと実感しました。

スカーフクラブ「あおもりサロン」筆

メンバー紹介



2006年より青森・弘前・八戸・むつ各市に支部を置き、青森県内の主に女性層に対し、エネルギー環境・放射線に関する正しい知識の普及促進を図ることを目的として活動してきました。しかし2008年3月に解散。青森支部の会員より引き続き活動したいとの申し出があり、スカーフクラブ「あおもりサロン」を立ち上げました。

スカーフクラブ「あおもりサロン」では、年に数回講師を招いての勉強会をはじめ、エネルギー関連の工場や施設の見学会は青森県外へも自主費用で定期的に開催。外部主催の講演会、意見交換会にも代表者が参加するなど、現在23名で積極的に活動中です。広報活動の一環として、創立時より大学祭にも参加しています。



原産協会理事長紹介

高橋明男です!

皆さん、こんにちは。
原産協会 理事長の高橋明男です。
この度、地域NW活動や地域での様子を皆さんと共有する目的で、JAIF TIMESを発行することに致しました。是非ご利用いただければ嬉しく思います。また、皆様にお会いし、直接活動状況等を聞かせていただけることを楽しみにしております。



お耳を拝借・・・食の境界線

創刊第1回目は「きつね」と「たぬき」をとりあげます。一般に関東では油揚げがのったそば・うどんを「きつね」、天かすがのつたものを「たぬき」と呼びます。ところが、大阪で「きつね」といえば油揚げがのつたうどんだけを指し、「たぬき」は油揚げがのつたそばのこと。同じ名称なのに約550km離れるだけで違うメニューになってしまうとは・・・皆さんの地方ではいかがですか？
ところで、同じ関西でも京都の「きつね」は油揚げを2cm幅で短冊切りにし、九条ねぎと一緒にうどんに乗せたもの。これにドロツとしたあんをかけたのが京都の「たぬき」。きつねがドロと化けてたぬきになったというわけ。

JAIF地域NWノムリエ

